

新潟市 × assh × きらきら オレンジリボンキャンペーン 2013 「ねえ、きいて！ ママのきもち パパのほんね」

■担当部署 広告事業本部広告部、同企画事業部、読者ふれあいセンター
■連絡先 広告事業本部広告部 / 電話：025-385-7432

概要

新潟日報社では、同社発行の女性向けフリーペーパー「assh」と新潟市との共催企画として、2013年11月の児童虐待防止月間に合わせて、虐待防止の啓発キャンペーンを企画・展開しました。紙面で特集を掲載したほか、育児セミナー「きらきらセミナー2013『ねえ、きいて！ママのきもち パパのほんね』」（主催＝新潟市、共催＝新潟日報社、新潟市社会福祉協議会子育てなんでも相談センターきらきら、協賛＝コープにいがた）を同年12月1日に開催しました。

タレント・新山千春さんのトークショーや専門家を交えた子育てQ&Aトークショーで構成する同セミナーには、子育て世代の男女250人が参加しました。また会場では、絵本の読み聞かせや親子写真教室、イクメン写真コンテストパネル展を同時開催しました。

フリーペーパー「assh」では、巻頭特集「パパ力を育児にいかす」（2013年11月14日号）を展開したほか、同セミナーの募集告知を掲載し、開催後はセミナーの様子を見開き2ページで紹介しました（2014年1月9日号）。

企画が生まれた背景や意図・ねらい

新潟日報社が20～40代女性をターゲットに月2回発行するフリーペーパー「assh」は、新潟市内で新潟日報購読者に折り込んでいるほか、他紙購読者帯や未読者帯にもポストアップしています。発行エリアの20～30代の子育て層にリーチできる媒体として、数年前から新潟市とのタイアップ事業を展開しています。2013年は、児童虐待防止には男性の育児参加の啓発も重要だとして、女性だけでなく男性にも関心を持ってもらえるように、「夫婦間コミュニケーション」をテーマに紙面特集、セミナーを展開しました。

こどもLOVE 新潟市×assh×きらきら
オレンジリボンキャンペーン 2013
きらきらセミナー
**ねえ、きいて！
ママのきもち
パパのほんね**

日時 12月1日(日) 13:30～15:30 (開場13:00)
場所 新潟日報メディアシップ 定員 250人
2階日報ホール (新潟市中央区万代3-1-1)

内容 **第1部** 新山千春さん
スペシャルトークショー
第2部 「育児のあれこれ
～あなたの疑問にお答えします」
●出演/新山千春さん(タレント)
野口雅史さん(音楽家、新潟青陵短大 幼児教育学科 助教、4児の父)
川村雅子さん(子育てなんでも相談センターきらきらコーディネーター)
●MC/富高由喜さん(UXアナウンサー)

申し込み方法 1通につき2名まで、希望者全員の①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥子育てに関する悩みや質問があれば)を明記し、**⑦メール**/kirakira@niigata-nippo.co.jp
締め切り 11月7日必着。応募多数の場合は抽選。当選者のみ11月18日(日)までに抽選券を送付してください。

入場無料

※未読者入場不可 ※託児を希望される方は、申込み時にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・年齢を明記。(12月1日現在6ヵ月～未就学児・セミナー当選された方が5名に抽選で50人・無料)

●問い合わせ/新潟日報社企画事業部 TEL (025) 385-7470 (平日9:30～17:30) ●主催/新潟市 ●共催/新潟日報社 新潟市社会福祉協議会 子育てなんでも相談センターきらきら

「きらきらセミナー」告知広告(「assh」2013年10月24日号)



巻頭特集「パパ力を育児にいかす」(「assh」2013年11月14日号)



「きらきらセミナー」特集記事(「assh」2014年1月9日号)

反響

セミナーは託児サービス付きでしたが、50人の託児枠はすぐに定員に達しました。育児中の母親だけでなく夫婦での参加や男性の参加もあり、育児への男性参加は年々増えていると実感できました。新山千春さんの等身大の子育てトークは参加者の共感を呼び、アンケートでは「もっと聞きたかった」という意見が複数見られました。

自治体と共に児童虐待防止を啓発